



なるほど!

ワクワクながの

～NAGANO検定ジュニアの過去問題にチャレンジしよう～



ながの し れき し

こ だい げん だい

長野市の歴史をたどってみよう ～古代から現代～

長野には、わたしたちが生まれるずっと前からの長い歴史があります。今回は、昔の人がどのような生活をしていたのか、どのような人たちが長野市の歴史や文化に関わってきたのかを紹介します。

おおむかし ながの

大昔、長野は〇だった!?



現在の長野市は、約200万年前まで海の底にありました。地層を調べると、泥や砂などが厚く積もっており、中からクジラをはじめセイウチ、アシカ、ホオジロザメ、ホタテガイ、アワビなど海の生物の化石がたくさん見つかります。それは、ここがかつて海だった証拠です。

やがて、地球の外側の固い部分(地殻)が激しく動くことによって大地がもり上がると、長野は地表に出て陸地となりました。

長野市域で最初に人類が暮らし始めた場所?

長野市域で最初に人類が暮らし始めたのは、高原や山地で、人々は狩りや木の実などを採って生活していました。その代表的な遺跡が、飯綱高原にある上ヶ屋遺跡です。

上ヶ屋遺跡は、大谷地湿原周辺で発見された、今から約2万年前の旧石器時代の遺跡です。調査では、さまざまな石器が見つかり、用途によって石器を作り分けていたことがわかりました。また、発見された石器を細かく観察すると、石の種類や作り方に違いがあり、北陸・東北地方、関東・中部地方、近畿・瀬戸内地方、それぞれの地域と交流があったことがわかっています。

Q1

長野市域で最初に人類が暮らし始めたのは、高原や山地で、人々は狩猟や木の実などの採集をして生活していました。その代表的な遺跡は、約2万年前の後期旧石器時代後半の上ヶ屋遺跡です。この上ヶ屋遺跡は、どの高原にあるでしょうか。

- ① 戸隠高原 ② 黒姫高原 ③ 飯綱高原

【NAGANO検定ジュニア第6回(2021年度)出題】 答えはうらの下に

今も残る松代城下町の町並み

松代藩は川中島4郡(高井郡・水内郡・更級郡・埴科郡)を領地とする、信濃国最大の藩でした。徳川家康の臣下となった真田信之が、この地へ国替えとなったのは元和8年(1622)のことです。それ以降、明治維新まで10代約250年にわたって真田氏による松代藩の治世が続く、歴代の藩主は文武を奨励し、また、松代の町づくりにも力を注ぎました。武家屋敷の庭園の水を隣家から隣家へ流す「泉水路」など、今でも当時の風情が残っています。



さなだてい しんごてんあと
真田邸(新御殿跡)



長野市の歴史や文化に関わっている人物とは？

長野市の歴史をたどっていくと、長野市には、日本や世界に貢献した人物、さまざまな分野で優れた功績を残した人物がたくさんいることが分かります。

佐久間象山



幕末、松代藩士の家に生まれた佐久間象山〔文化8年(1811)～元治元年(1864)〕は、幼い頃より勉学に励み、20歳の若さで松代藩主の子の教育係に選ばれるほど優秀だったといえます。江戸に出てからは儒学をはじめ、海外事情についても学び、さまざまな科学実験も行いました。また、西洋砲術を習得し、江戸の深川で私塾を開き、勝海舟や坂本龍馬、吉田松陰ら後世に名を残す、たくさんの門下生を育てました。元治元年(1864)、幕府の命を受けて京都へおもむきましたが、志半ばにして尊王攘夷派によって暗殺されました。

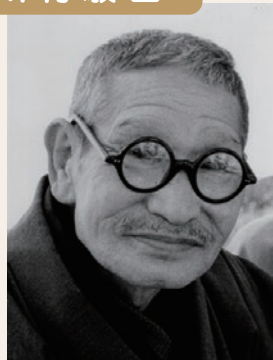
宮入慶之助

宮入慶之助〔慶応元年(1865)～昭和21年(1946)〕は、更級郡西寺尾村(現在の篠ノ井西寺尾)の松代藩士の家に生まれました。東京帝国大学医科大学を卒業後、ドイツ留学を経て、大学の教授となり、寄生虫の研究を進めます。

大正2年(1913)、タニシに似た小さな淡水の巻貝(後にミヤイリガイと命名)が、長い間人々を苦しめていた感染症の一種、日本住血吸虫病の感染につながることを発見します。この発見により、日本をはじめアジアやアフリカなどに分布する住血吸虫の感染経路が解明され、世界の人々の命を守るきっかけとなり、ノーベル賞候補にもなりました。



川村驥山



川村驥山〔明治15年(1882)～昭和44年(1969)〕は、明治から昭和にかけて活躍した、日本の書道界の第一人者として知られています。静岡県に生まれた驥山は、幼い頃から書と漢詩を学び、12歳で明治天皇の銀婚式に書を献上し、神童とたたえられます。太平洋戦争末期、篠ノ井へ疎開したのをきっかけに、長野へ移住し、昭和26年(1951)、書道界で初めて日本芸術院賞を受賞しました。

ゆかりの深い長野市篠ノ井には、貴重な作品を常設展示する「驥山館」があります。

Q2

寄生虫・衛生学者として世界に貢献した私は、慶応元年(1865)に更級郡西寺尾村(現在の篠ノ井西寺尾)の松代藩士の家に生まれました。大学の教授となって寄生虫の研究を進め、長い間人々を苦しめていた感染症の一種、日本住血吸虫病が淡水の巻貝(後にミヤイリガイと命名)によって媒介されることを発見しました。この私はだれでしょうか。

① 草川信

② 宮入慶之助

③ 石坂周造



【NAGANO検定ジュニア第5回(2020年度) 出題】 答えは下に